

『最新實測大大阪明細地図』

大正 15 (1925) 後藤七郎右衛門 (製図) 大阪毎日新聞社 108×78cm

関西大学図書館蔵

「大阪毎日新聞社監輯」で、「大正十四年四月一日 大阪毎日新聞 第一万五千三十二号 附録」の「大大阪地域拡大記念付録」となっている。大大阪完成記念の附録ということになる。北は豊能郡、三島郡まで吹田町があり、アサヒビールは「麦酒会社」と記載されている。西は尼崎市、東は中河内郡の郡境の東側、北は堺市の一部を含む。大阪市内は、町名が詳しく書かれている。

付図の「拡大前後之比較図及周囲之交通」では、大大阪の拡大地域がよくわかる。また、「大大阪及新区の面積戸数人口」の統計(大正9年、12年の国勢調査にデータによる)、「大阪市営電車」の路線図も掲載されている。

主要な学校、工場、会社などが記載される。関西大学は、この時すでに千里山学舎が開学しており、福島学舎は「関西大学専門部」となっている。北野中学校は梅田の北側で、東側に梅花女学校があり、北野中学校前、梅花女学校前の停留所が見られる。その他、今宮中学校、市岡中学校、高津中学校、住吉中学校、上之宮中学校、東区商業学校、福島商業学校、扇町商業学校、浪華商業学校、大手前女学校、阿部野高等女学校、天王寺女学校、金蘭会高等女学校、夕陽ヶ丘高等女学校、プール女学校、ウヰルミナ女学校などの名が見られるが、天王寺中学校の名前がない。旧大阪外国語大学の前身の外国語学校の名もある。北畠には大阪高等学校があるが、周囲はもののみごとに田畑ばかりだ。この年、藤澤桓夫、林廣次(秋田実)、長沖一、小野勇、上道直夫らが在学している。

新世界には「通天閣」、「国技館」、「ラジウム温泉」があるが、「ルナパーク」の名前が珍しく印刷されている。道頓堀も「弁天座」、「朝日座」、「角座」、「中座」、「浪花座」、「松竹座」の名が連なっている。難波駅北側に「演舞場」とあり、これは現在のなんばグランド花月であろう。天王寺公園には、「動物園」、「市民博物館」、「勸業館」、「公会堂」がある。

大阪城は第四師団司令部で、西側には旅団司令部があり、憲兵隊と幼年学校の名がある。

昭和3年の「グレート大阪市全図」では「日本航空飛行所」となっている所は「日本航空会社」で「西田飛行場」と記載されている。大大阪成立前後の地図を比べると、いろいろな違いがわかっておもしろい。

この地図では、天下茶屋聖天山南側に「鯨池」の名がある。堺市に目をやれば、南海高野線朝浅香山駅前には、「萱田池」と「北今池」がある。現在の関西大学堺キャンパス近辺である。現在の高須神社停留所が「綾之町」になっている。平野は「平野郷町」とあり、周囲が田畑であるのに、大阪市内から離れて唯一大きな地域となっているのもおもしろい。「飛田」、「釜ヶ崎」の名前もある。

